

学力向上に効果のある取組事例

国東市立国見小学校

⑰校内研修などによる授業改善

取組の具体①

○子どもたちの実態としては、国語科や算数科において、読み取る力・表現する力・伝え合う力などに課題があった。そこで、校内研究を中心に、考えを持てる学習展開や発言しやすい場づくりの工夫等を通して表現力を高める授業改善に取り組んだ。

①自分の考えをもたせるための課題設定の工夫や支援

- ・学びを揃えるための既習事項の確かめ（短時間で行う）
- ・考えがもてない子どもへの個別の支援（ワークシート、ヒントカード、具体物などの教具の活用）

②考えを伝え合う工夫を取り入れた交流活動

- 自分の考えを表現するための有効な手立て
 - ・ペア・グループ学習などの学習形態の導入
 - ・発表ボードの活用
 - ・ICT機器（投影機）の活用
 - ・ロイロノートアプリの活用（全員の考えを共有）
 - ・ノートの見合いによる意見交流

③学びを振り返り、学びを深める振り返りの設定

- ・振り返りの視点の見える化

◎一人1実践の事後協議の設定

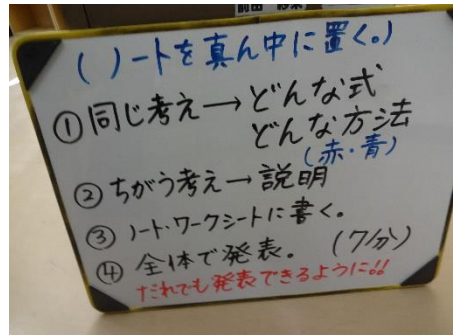
- 自分の考えをもたせるために有効だった工夫や支援のあり方を一人1実践授業（互見授業）後に交流し合った。



自分に合ったヒントカードを選ぶ



ワークシートでの考えの交流



グループ学習の進め方の例



ロイロノートのツール活用